

区政 N o w ! (19年5月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

しあわせ



新緑の季節となりましたが、すでに真夏のように暑い日が続き、地球温暖化に対する危機感を強めております。次世代が安心して暮らせるよう、地球規模の問題ではありますが、一人一人が日常生活の中で環境に配慮していく必要があります。

区としても重点的に環境対策に取り組んでまいりますので、ご協力をお願いします。

「藤の大滝」は荒川区が守ります

19年4月29日に開かれた藤見の宴の席で「藤の大滝」の保護に向けた全面支援を約束しました。この藤の木は、高さ12メートルから薄紫色の花房が滝のように流れ落ちる姿から「藤の大滝」と呼ばれ、およそ二十年以上もの間、観光の名所として親しまれてきました。

持ち主が高齢のため世話ができなくなり、今年を最後に1/3の高さまで伐採することになったのを、区民をはじめ伐採を惜しむ大勢の大滝ファンからの要望を受け、区として全面的に支援することとしました。



最近の出来事

第21回川の手荒川まつりに6万人が来場しました



19年4月29日に東尾久運動場、都立尾久の原公園において、川の手荒川まつりが開催されました。

この日は晴天に恵まれ、6万人もの方々に来場していただきました。

オープニングはマーチングバンドやバントワリングなどによる華やかなパレードで開始され、都電荒川線にちなんだ地ビールや

都電グッズを販売する名産店コーナーや交流都市による地元物産の販売、試食コーナーが設けられました。

中央に設置されたステージにおいては、区制75周年記念事業の一環として、交響詩「荒川・隅田川」第一楽章の初演が行われたほか、子どもたちの楽しみとなっている仮面ライダー電王ショーやミニ隅田川を設置してのどじょうすくいなど、様々な催しが実施されました。

わが家の満点メニューコンテストを実施します

区民の皆さんに健康づくりの主角として、ご家庭での健康的な食生活を考え実践していただこうと、わが家の満点メニューコンテストを女子栄養大学後援により行います。

募集テーマは、「わが家自慢の安くて・おいしくて・ヘルシーなメニュー」です。

募集方法は、案内チラシ、区のホームページ、区報などでお知らせします。

レシピの独創性、簡便性や味つけ、塩分量、野菜使用量などのヘルシー度の評価により、審査を行い、大賞1点（賞品は、5万円分の区内共通お買い物券、または相当品）、優秀賞2点（1万円分の区内共通お買い物券、または相当品）、佳作2点（2千円分の区内共通お買い物券、または相当品）、女子栄養大学学長賞（月刊誌「栄養と料理」1年分）を決定します。

各賞については、19年10月6日の健康週間オープニングイベントで表彰式を行います。

荒川区コミュニティバス「さくら」が増便しました



荒川区コミュニティバス「さくら」は、朝のラッシュ時の混雑緩和のため、始発の「南千住駅西口」の午前7時30分から8時30分発の運行間隔を、これまでの15分から12分に短縮しました。

「子育て交流サロン」を新たに1か所増やし、東日暮里保育園内に設置しました

「子育て交流サロン」では、子育て中のご家庭の保護者の方とお子様（3歳以下）を対象として、他の家庭との交流や遊びの場の提供をしています。また、子育てに関する様々な相談に応じて子育て情報を提供することにより、孤立しがちな在宅育児家庭を支援しています。

「ドンボスコ保育園」（荒川3-11-1）、「小台橋保育園」（西尾久6-9-7）、「はなみずき保育園」（南千住8-5-5）、「子ども家庭支援センター」（荒川5-12-10）に続き、19年4月23日（月）に「東日暮里保育園」（東日暮里6-28-15）に子育て交流サロンを設置しました。

月曜日～金曜日・午前9時半～午後5時に開設しており、利用料は無料です。